



日本蛾類学会会員で奄美
昆虫同好会に所属する鮫
島眞一さん(54)が、鹿児島
県奄美大島の湯湾岳で新種のガを発見した。

「ユワンオオエダシャク」(学名 *Amblychia yuwanina*)、略称ユワニー



発見されたユワンオオエダシャク(鮫島眞一さん提供)

発見! 奄美で大型のガ 新種

ユワンオオエダシャク

ナと名付けられ、8月発行の学会誌「蛾類通信」に掲載された。エダシヤクガ研究の第一人者の佐藤力夫さん(73)が新種と判断し命名。佐藤さんは「大型のエダシヤクガで、新種が発見されるのは珍しい」と話している。

ユワニーナはシャクガ科の仲間
で、羽を開けると5センチを超える。発見したのは雄21匹。雌や幼虫は見つか
っておらず、生態は分かっていない。
鮫島さんは3月、世界遺産登録に
向けた昆虫調査の一環で湯湾岳の
標高480以上の地点を調査し、夜中
に採集した。台湾の高地に非常に
近い仲間のエダシヤクガがいるが、
羽を広げたときの大きさや交尾器の
形が異なることから新種と判断さ
れた。鮫島さんは「世界遺産登録に
向けて、沖縄と協力して希少種を
調べていきたい」と呼び掛けた。